

令和6年度 2学期 自己評価・学校関係者評価報告書(年少組)

令和 6年 12月 20日
学) 広島ルーテル学園 西条ルーテル幼稚園

○本園の教育目標

- ①一人ひとりがかけがえの無い存在であることを知り、日々神様からの恵みに感謝する(感謝)
- ②集団生活の中でいたわりの心を持ち、仲間と喜びを分かち合う(喜び、いたわり)
- ③責任ある自由の基礎を身につけ困難に立ち向かう勇気を持つ(責任・勇気)

○本年度重点的に取り組む目標・計画

- (年少) ・礼拝を通して神さまの存在を知る。
・園生活の中で一日の流れを知り、いろいろな活動に意欲的に取り組む。
- (年中) ・自分の思いを伝えたり友だちの思いに気付いたりしながら、共に生活することを楽しむ。
・自分がしたい遊びを十分に楽しみながら興味や関心を広げていく。
- (年長) ・共通の目的に向かって友だちと考えイメージを話し合い、協力して活動をすすめる。
・クラスの一員として、目標に向かって試行錯誤をしながら繰り返し挑戦し、充実感を味わう。

○評価項目の達成及び取り組み状況 ◎年少組(たんぽぽ組・すみれ組)

(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

	評価項目	評価	改善するために		評価項目	評価	改善するために	
保育目標	①子どもの主体性を大切にされた保育を展開する	C	・引き続き、保育者と子ども同士が落ち着いて関わりを深められるように環境を整える。そのうえで主体的(自発的)な遊びを広げられるようにする。	挨拶	①職員は子どもに挨拶の大切さを伝えている	A	・引き続き、職員同士の挨拶の様子や保護者に対する挨拶を通して、子どもに挨拶の大切さを伝えていく。	
	②学年の重点目標を意識した保育を行う	B			②職員は保護者に対して気持ちのいい挨拶をしている	A		
保育	①子どもの様子を見ながら、一人ひとりにあった言葉がけをして表現力を伸ばす	B	・行事の練習を通してクラス以外の子どもにも声掛けを行うことができた。 ・一人ひとりの良いところを見つけるということに視点をおき、得意なことを活動に取り組むことができるようにしていく。また、一人一人の頑張りやクラス全体に共有していく。		保護者との連携	①保護者に子どもの姿を丁寧に伝えることを心掛け、連携をとっている		A
	②日々の生活の中でその子の良い所を見つけ、肯定感が持てるような言葉がけをしている	B		②園の保育内容や子どもの姿が分かるように発信をしている(ドキュメンテーション・コドモン)		A		
	③朝の登園時には視診を大切に幼児の体調が悪くないか確かめている	A		職員間の連携	①職員間での連携が取れている(報連相)	B	・細かいこと大きなことに関わらず、報告することをメモに残す。	
	④登園時に名簿をチェックし子どもの登園を確認している	A			②子どもや保護者の事など、小さな事でも報告・連絡・相談等をしている	A		
行事	①指導計画は幼児の興味や関心を考慮して作成し生活が豊かになるような行事を行っている	B	・クラス内だけでなく学年全体で子どもの興味のあることを共有する。 ・指導計画を立てる	職員間の連携	③日々の保育を振り返り、学年同士での連携をとりながら保育に生かす事ができている	A		
	②行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	B						
環境・施設設備	①安全で清潔感のある環境構成をしている	C	・子どもの動線を考えて、机など環境構成を考えたり、必要に応じて視覚教材を用いたりする。		備考			
	②子どもの成長や季節に応じた環境構成をしている	B						
	③園内に危険な箇所がないか・危険な遊び方はないか等、常に観察している	B						